

# 新幹線プレス

2017年3月23日 No.342

発行者 成田隆浩

編集者 教宣部

JR東海労新幹線地本

## 新幹線車内業務見直し

# ユニオンがスムーズな導入を会社に要請

3月8日づけのユニオン新幹線業務部情報には、「今回業務委員会の中で、下記の点が明らかになった」と書かれています。しかしいったいいつ業務委員会が開催されたのか、紙面のどこにも書いてありません。

しかも、内容が不自然です。

8の(4)項は、会社回答が組合の質問事項と一言一句同じである。

(4)(6)項はあるが(5)項は質問事項も会社回答も欠落している。

かんがえられない間違いです。本当に業務委員会に出席した役員が業務部情報を書いたのか疑問です？本当に業務委員会は開催されたのか？本当に会社と議論したのか？

業務委員会をやってないのにやったこととして会社にシナリオを書いてもらったのではないかという疑惑がぬぐえません。

それだけではありません。まだ会社との協議が始まったばかりなのに

これからも継続的に労使協議の場で説明を求めていくが、**会社としても職場において訓練などの場を活用して社員への説明をしっかりと行っていただきたい。**

**本番を迎えて2人でも困らないよう、今のうち想定した試行をお願いしたい。**

～実際にやってみてこうだといえることが納得感につながるし**導入がスムーズになると**考えている。

などと会社に要求しているのです。

ユニオンは、まだ労使協議が始まったばかりだというのに、制度に反対するのではなく一刻も早く実施するという立場であることを露骨に表明しているのです。

ユニオンは会社のための組合なのか！労働組合を名乗るのもおはずかしい。

私たちJR東海労は、大幅な労働強化につながる車内業務見直しに反対して闘います。